

平成23年 秋 第29号

## 静岡てんかん・神経医療センター情報誌

# あかり

A K A R I

看護師さんを  
募集しています

|                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| 自分の病気のエキスパートになる<br>～てんかん学習プログラムの登場～ | 1 |
| 「津軽三味線の演奏会」開催                       | 2 |
| 当院の国際協力事業                           | 3 |
| 日本全県味巡り                             | 4 |
| 第28回てんかん専門職セミナー報告                   | 5 |
| 新人自己紹介                              | 6 |
| てんかん外来再診の診療体制 / 医療連携室               | 7 |
| はじめて当院を受診される方へ                      | 8 |
| 当院へのアクセス / イベント情報 / 本               | 8 |

## 自分の病気のエキスパートになる ～てんかん学習プログラムの登場～

てんかんはどのような病気なのだろう、今の治療でよいのだろうか、これからどうなっていくのだろうか、どのように生活したらよいのか、仕事は？結婚は？このような不安や疑問を解決するのはなかなか容易なことではありません。本を読んでも次から次に疑問が湧いてきます。何でも答えてくれる専門家はすぐにはみつかりません。同じ病気をもつ他の人に聞くのはとても参考になりそうですが、そのような機会がいつでもある訳ではありません。

一方で、病気の治療に携わる人は、病気のある人が正しい知識を得て病気に積極的に取り組むことを望んでいます。そうでないとよい治療成果が生まれません。このため、正しい情報を伝える方法をいろいろと工夫していますが、病気のある人の不安や疑問を十分に汲みあげて解決するところまでなかなかうまくいきません。

そこで、双方がお互いに能動的な意見交換をしながら病気につい





て学ぶ方法として登場したのが、てんかん学習プログラム「モーゼス MOSES」です。病気についての知識を得るだけでなく、病気と向き合い、積極的に病気を克服することを学ぶ方法としてヨーロッパで作られたこのプログラムは、科学的な手法でその効果が検証されています。学習を受けた人は、受けなかった人に比べ、病気とよりうまくつきあうことができ、発作が少なくなり、薬の副作用も少なくなったと報告されています。

トレーナーのもとで、てんかんに関わる幅広い領域を9つの重点テーマに添ってグループで学習し、不安を克服していきます。病気のある人が、自分の

病気のエキスパートになること、自分の病気を他の人にうまく説明できるようになること、制限の少ない安心した生活をおくれるようになることが目標です。

このプログラムのワークブックを静岡てんかん神経医療センターのスタッフが翻訳し、日本の事情に合うように書き直し、装幀を行いました(写真)。日本てんかん学会と日本てんかん協会が協力して出版し、現在、全国にこの学習プログラムが広がるように取り組んでいます。

ご関心のある方は、当院のスタッフあるいは日本てんかん学会・協会にお問い合わせください。

(院長 井上 有史)

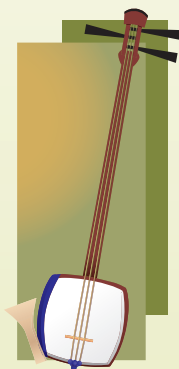
## 「津軽三味線の演奏会」開催

教育担当 舩田 俊一

9月5日(月)14時からNHK厚生文化事業団の慰問があり、津軽三味線奏者、松田隆行さんの演奏会が当院講堂において開催されました。講堂には、患者様、院内学級の子ども達、先生、職員、外来者、約100人とたくさんの方に集まって戴きました。はじめて、三味線の演奏を聞くという方が多く、演奏が始まるとそれまでざわついていた会場がシーンとなり、皆さん演奏に聞き入っていました。曲目は、「津軽じょんがら節」「あいや節」など力強い三味線の音色、歌声に大きな拍



手が起こっていました。また、津軽三味線と一般に演奏される三味線との違いを説明していただきました。演奏後は、会場からアンコールの拍手がわき、それに応じて頂き「南部俵つみ唄」を手もみによる手拍子を教えてもらいました。また、松田さんからは手拍子が上手だと誉められる等冗談を交えた会話もあり、楽しい演奏会となりました。



## 当院の国際協力事業

アジア各国には全体で約3000万人のてんかん患者さんがおられることが想定されております。しかし、これらの多くの国ではてんかんの医療水準が決して高くはなく、約90%の患者さんで適切な治療が遅れていることが報告されております。そのために、政策医療として国際医療協力を担う当院は、アジア各国のてんかん医療の水準向上を目的として各種の国際協力事業に積極的に参加しております。今回は、これまで当院が行ってきた国際協力について紹介いたします。

### アジア各国での研修事業

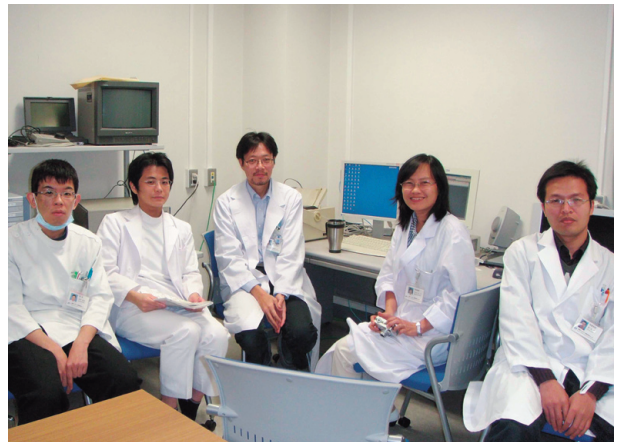
アジア各国に講師を派遣して各国の医師・医療関係者にてんかん診療を指導しております。2000年以降に当院から講師を派遣した場所としては、ハノイ、ホーチミン（以上ベトナム）、バンドン、サマラン（以上インドネシア）、ウランバートル（モンゴル）、カトマンズ（ネパール）、ダッカ（バングラデシュ）、昆明、新疆、蘭州、南寧、海口、上海、西安、福州、香港、銀川（以上中国）、ピエンチャン（ラオス）、シンガポール（シンガポール）、クアラルンプール（マレーシア）、ニューデリー（インド）、カラチ（パキスタン）などがあります。なお、これらの当院の活動の一部は、当院のホームページ(<http://www.shizuokamind.org/seminar/international.html>)でも紹介しています。



【2007年、西安での講演会の様子】

### アジアからの研修生の受入

研修事業で多くの先生方に数日間の講演・指導を行うことは必要ですが、実際のてんかん診療をさらに詳しく理解してもらうためにはもっと長期の研修が必要となります。そのため、当院ではアジア各国からの研修生を受け入れております。2000年から2011年8月までに約50名の研修生が、中国、インドネシア、モンゴル、フィジー、グルジア、ベトナム、マレーシア、台湾、タイなどから来られました。研修期間は1ヶ月間の方から最長で2年間の研修をされる先生もおられます。それぞれの期間の中で、当院を見ていただきながらてんかん診療の基礎から、診療現場の実際を体感、各種検査技術の習得、てんかんの外科的治療の見学、さらには各種研究活動などもしていただいております。



【2009年12月、研修に来られた先生方と】

これらの研修事業はてんかん医療関係者の国際組織である国際抗てんかん連盟と協力して行っております。このような活動を通じて、各国のてんかん患者さんの置かれている状況が少しでも改善すること、さらには各国との友好的な国際協力関係の形成に寄与できることを願っております。

（国際医療協力室長 寺田 清人）





## 日本全県味巡り

管理栄養士 齋藤 秀和

当院は、全国規模の広域医療を実践しており、てんかん病棟の入院患者の8割が静岡県外であるという特徴があります。また、長期入院の患者さんが多いことや、小児病棟を持ち小児・学童児が多く入院されていることも特出すべき点です。

そこで、約8割が常食（栄養量や形態の制限がない食事）であり、献立作成や企画食など幅広く行えるという栄養部門の特徴も踏まえ、当院だからこそできるような特別な食事企画で入院生活をリフレッシュして頂きたいと考えました。

テーマとして挙げたのは3点。『遠いところから入院されている患者さんに対して、地元の食文化や料理から、故郷、地元を懐かしんでいただくこと』『長期入院の患者さんに、食事から旅行気分を味わっていただくこと』『小児、学童期の食育という観点から、食文化の地理的、歴史的な特徴を知っていただくこと』。

以上のことから、日本全国の郷土料理を味わっていただく『日本全県味巡り』を企画し、月一回の頻度で実施してきました。今まで、実施した中からいくつかを紹介します。

### ● 静岡県 ●



- ◆鯛めし
- ◆黒はんぺんフライ
- ◆駿河和え(桜エビ)
- ◆みかん
- ◆うなぎパイ

まずは当院の所在地から

### ● 宮城県 ●



- ◆はらこ飯
- ◆なす田楽(仙台みそ)
- ◆おくずかけ
- ◆ずんだ餅

震災の後は、がんばろう東北シリーズを実施

### ● 沖縄県 ●



- ◆タコライス
- ◆ゴーヤチャンプルー
- ◆もずく酢  
(シークワサー風味)
- ◆ちんすこう

夏には南国気分を

### ● ロシア ●

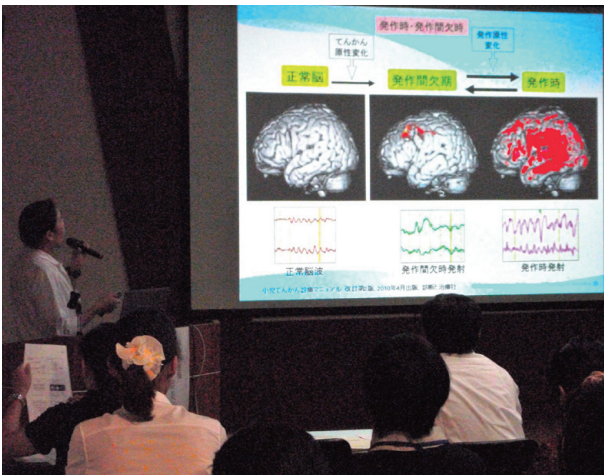


- ◆ボルシチ
- ◆スタリーキヌイ  
(ロシアサラダ)
- ◆ピロシキ

世界にも進出しています！

現在までに、31回(うち世界3カ国)を数え、日本のほぼ半分を巡ってきました。アンケートでは8割近くが、食事からその土地の雰囲気を感じ取れたとご回答いただき、設定したテーマに沿った企画ができていと嬉しく感じています。また、出身地であったために他の患者さんに色々と質問された、という意見も聞かれ、患者さん同士の交流に役買えたことが予期せぬ喜びでした。今後も、おいしくて、彩りよく、健康的な食事を提供していき、味巡りの全国制覇を目指したいと思います。

## 第28回てんかん専門職セミナー報告



当院ではてんかんをもつ人に関わる専門職の方を対象にセミナーを年に2回、夏は幼児・小児のてんかんについて、冬は成人のてんかんについて開催しています。今回、てんかんを持つ児童に関わる専門職の方々を対象に第28回てんかん専門職セミナーを平成23年8月9日(火)に行いました。昨年同様、今年度も特別支援学校教員を対象に療育指導室が中心となって開催している“てんかん研修ガイダンス”と合同で開催しました。

参加者は静岡県・愛知県から定員を超えて54名もの参加がありました。(会場の都合で16名の方の参加をお断りしました。)経験年数は新任の方から30年以上の方まで幅広く、また職種も特別支援学校の教諭や保育士・看護師・理学療法士等さまざまな職種の方が参加されました。

今年度の内容は、高山留美子先生による「てん

かんの基本的知識」、中田美紀副看護師長による「てんかん発作の対応の仕方と病棟との連携」、藤森潮美主任保育士による「てんかん児の保育」、杉山修発達支援室主任による「てんかん児の教育指導上の留意点」、橋本睦美主任医療社会事業専門員による「てんかん児の家庭と教育、医療の連携」の5題の講義と施設見学でした。

参加者の皆様の8割以上がてんかんをもつ方に関わった際に困ったことがあると感じており、その内容の半数は発作時・発作後の対応、発作の観察方法が分からないということで、みなさん講義に大変熱心に聴講されておりました。「医療に関係する方々の話がきけ、さまざまな側面がみられた」「大変勉強になった。明日から活かしていきたい」「もう少し人数を増やしてほしい」など非常に好意的な意見・感想も寄せられ、セミナーの開催をお手伝いしたスタッフの一員としてとても励まされました。「具体的な事例をもっとまじえてほしい」との意見が多かったので、今後ご指摘いただいた点なども検討しつつ、皆様のお役にたてるセミナー開催を継続していきたいと考えております。

このセミナーがてんかんに対する知識や発作への対応の仕方、てんかん児を取り巻く家庭や教育場面などについてより理解を深めるひとつの機会となればと思います。

(主任理学療法士 井場木 祐治)



### 看護師さんを募集しています!

①常勤職員：病棟勤務 夜勤有り ②非常勤職員（外来、B型通園、病棟）  
経験の少ない方、育児等でブランクのある方でも心配はご無用です。「じっくり患者様と関わりたい」「ゆとりのある看護をしたい」とお考えの方、ぜひ当院で働いてみませんか？  
相談、見学等随時お受けしております。お気軽に看護部長室までご連絡ください。

TEL ● 054-245-5446

E-mail ● kango-bu@szec.hosp.go.jp

## 新人自己紹介

### 小児科 医師

秋山 倫之

出身地 ■ 岡山県岡山市

趣味 ■ 食べること、卓球、テニス、音楽

抱負 ■

明るく楽しく笑顔を絶やさずにをモットーとし、患者さんの生活の質が日々向上するような医療を提供していけるようがんばりたいと思います。

### 小児科 レジデント

秋山 麻理

出身地 ■ 広島県福山市

趣味 ■ 漫画を読むこと

抱負 ■

広島と岡山しか住んだことが無く、東海・中部地方は初上陸です。雄大な富士山や太平洋、おいしい魚や野菜を日々満喫しています。不勉強なことが多いですが、よろしくご指導下さい。

### 精神科 レジデント

中野 友義

出身地 ■ 大阪府羽曳野市 趣味 ■ フットサル

抱負 ■

平成 17 年に大阪医科大学を卒業し、平成 19 年に神経精神科に入局して今年の 7 月末まで淡路島の新淡路病院に勤務しておりました。まだまだ不慣れなところもあり毎日が大変ですが多くのことを吸収して大阪に持ち帰りたいと思っています。よろしくお願いします。

### 薬剤師

入江 こはる

出身地 ■ 静岡県

趣味 ■ 散歩

抱負 ■

初心を忘れず、常に積極的に学ぶことを意識して日々の仕事をしていきたいと思っています。

### 診療放射線技師

奈良 昌敏

出身地 ■ 茨城県古河市

趣味 ■ スポーツ観戦、音楽鑑賞

抱負 ■

患者様に安心と安全な医療を提供し、多くの信頼を得られるよう日々努力してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

### 理学療法士

川口 梨沙

出身地 ■ 三重県

趣味 ■ 映画鑑賞

抱負 ■

入職して半年が経ちましたが、自分の未熟さを痛感する毎日です。PT としてまだまだ未熟ではありますが、日々精進していきたいと思っています。宜しくお願いします。

### 管理栄養士

名切 佑花

出身地 ■ 静岡県浜松市

趣味 ■ スノーボード

抱負 ■

勤務をしてから半年が経ちました。社会人 1 年目でもあり、栄養士としても 1 年目です。失敗もあると思いますが、多くの経験を積み重ね成長できるよう頑張りますので宜しくお願いします。

### 児童指導員

林 香里

出身地 ■ 岐阜県

趣味 ■ 甘いものを食べる

抱負 ■

患者様やご家族、スタッフの皆様に支えられ、働かせていただいています。患者様が笑顔で過ごすことができるよう、微力ながら尽力していきたいと思っています。

### 管理課 職員係

石井 裕昭

出身地 ■ 千葉県

趣味 ■ 映画鑑賞

抱負 ■

まだまだ失敗が多いですが、職員の方から質問された時に、何についても対応ができるように、早く自分の仕事を身につけたいと考えています。



## てんかん外来再診の診療体制

## てんかん科

午前の診療時間は8:30~12:00 午後の診療時間は13:00~16:30

|       | 月    | 火   | 水   | 木    | 金   |
|-------|------|-----|-----|------|-----|
| 第1診察室 | 中村   |     | 臼井桂 | 山崎   | 臼井直 |
| 第2診察室 | 久保田英 |     |     | 久保田英 |     |
| 第3診察室 | 今井   |     | 井上  |      | 松田  |
| 第4診察室 |      | 鳥取  | 日吉  |      | 日吉  |
| 第5診察室 | 池田仁  | 池田浩 | 池田浩 | 寺田   | 寺田  |
| 第6診察室 | 芳村   | 山崎  |     | 芳村   | 馬場好 |
| 第7診察室 |      | 小出  |     | 最上   | 高山  |
| 第8診察室 |      |     | 高橋  |      |     |
| 第9診察室 | 重松   | 大谷  |     | 大谷   |     |

## 神経内科

|        | 月  | 火  | 水  | 木 | 金    |
|--------|----|----|----|---|------|
| 第10診察室 | 杉浦 | 小尾 | 山崎 |   | 小尾   |
| 第11診察室 | 溝口 | 八木 | 溝口 |   | 馬場国※ |

※第1、3週のみ

## 特殊外来

|        |    |          |
|--------|----|----------|
| 転倒予防外来 | 随時 | 溝口、小尾    |
| 物忘れ外来  | 随時 | 溝口、小尾    |
| 遺伝相談   | 適宜 | 高橋、溝口、小尾 |
| 禁煙外来   | 随時 | 池田仁      |

再来診療は予約制です。予約が出来ない場合は午前中にお越しください。

## 医療連携室のご案内

医療機関間のコミュニケーションを円滑に行なうために、医療連携室(予約センター)を設置しています。ご利用ください。(平日)

TEL ■ 054-246-4580(初診)

054-246-1065(再診)

FAX ■ 054-246-4607

予約センターの受付時間

● 9:00 ~ 12:30 ● 13:30 ~ 17:00

E-mail ■ renkei@szec.hosp.go.jp

当院では、脳波、筋電図、誘発電位、脳磁図、終夜ポリグラフ、CT、MRI、SPECTなどの検査が可能です。共同利用も可能です。  
上記、医療連携室にお問い合わせください。

## 広報誌編集委員会

## 編集人■

|       |       |        |
|-------|-------|--------|
| 溝口 功一 | 寺田 清人 | 藤井 千穂子 |
| 舩田 俊一 | 家田 直幸 | 仲野 久美子 |
| 児玉 和久 | 中神 基充 | 堀田 真子  |
| 山本 恵  | 長田 英喜 |        |

発行 ■ 平成23年10月31日

国立病院機構

静岡てんかん・神経医療センター

〒420-8688 静岡市葵区漆山 886

TEL ■ 054-245-5446

FAX ■ 054-247-9781

URL ■ <http://www.shizuokamind.org>

E-mail ■ shizuoka@szec.hosp.go.jp

## はじめて当院を受診される方へ

### ◆診察は予約制になっています◆

#### 1 受診のための手続きは…

予約制は、ご本人・ご家族から当院医療連携室(054-246-4580)へ、あるいは主治医の先生から当院医療連携室へ申し込んでください。その際、ご本人の氏名・性別・生年月日・住所・電話・保護者氏名をお尋ねいたします。電話をいただきますと、その場で受診日を決め、折り返し当院からくわしい書類をお送りいたします。

#### 2 セカンドオピニオンについて

セカンドオピニオンもお引き受けいたします。

#### 3 紹介状について

現在すでに病院へかかっておられる方は、主治医の紹介状があることが望ましいですが、なくても結構です。紹介状がない場合は別途費用(2,625円)がかかりますので、ご了解ください。病院からの資料もあれば望ましいですが、なくても結構です。

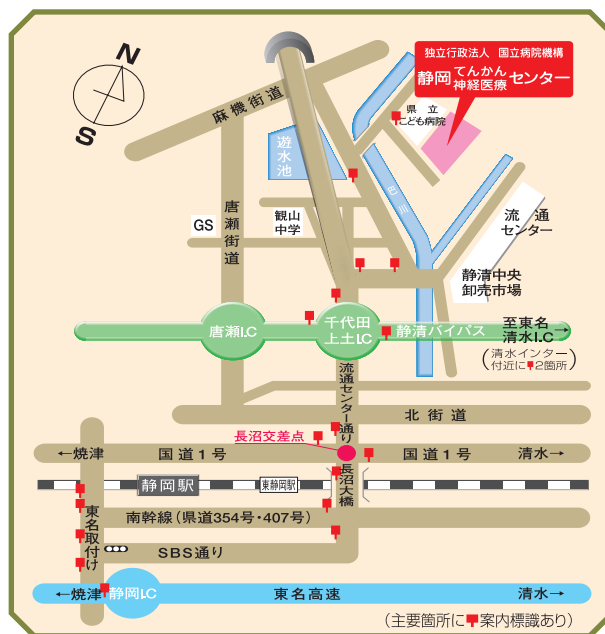
#### 4 緊急を要する時は…

受診日は病状に応じてできるだけ対応いたしますので、緊急を要する時はその旨をご連絡ください。

### 当院へのアクセス

### access

|             |         |                                                                                                                |
|-------------|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| バスをご利用の場合   |         | JR静岡駅前、北口バスターミナル20番線より静岡鉄道バスにて、こども病院線「67 こども病院・神経医療センター」行に乗車、終点の「静岡神経医療センター」で下車。全所要時間は約30分。片道料金は大人350円、小児180円。 |
| タクシーをご利用の場合 |         | JR静岡駅前(北口)より乗車。所要時間は約20分。料金は2,200円程度。                                                                          |
| お車の場合       | 東京方面から  | 東名高速清水インターより、静清バイパスを静岡方面に向かい、千代田・上土出口から流通センター通りを北へ数分。所要約20分。                                                   |
|             | 名古屋方面から | 東名高速静岡インターより、国道1号線を清水方面に向かい、長沼交差点を左折、流通センター通りを北へ数分。所要約30分。                                                     |



## BOOK

### ●アトラス てんかんの発作間欠時・発作時脳波を読む【診断と治療社、2007年】

てんかん症候群におけるあらゆる病態の脳波記録を網羅的に掲載し、それぞれについて詳細でわかりやすい脳波判読のしかたを解説しています。

### ●てんかん症候群：乳幼時・小児・青年期のてんかん学【中山書店、2007年】

世界で愛読されているてんかんの教科書です。典型的な発作DVDが付属しています。

### てんかん情報センターのご案内

てんかんに関するさまざまな情報を集積したセンターが外来棟1階にあります。どうぞご利用ください。次の活動を行っています。

- ① てんかんに関する書籍・雑誌・ビデオなどの閲覧・貸し出し(自己学習)
- ② ホームページによる情報提供
- ③ てんかん協会との連携
- ④ 医療などの相談(予定)